

## 第四期中期目標（案）の概要

※ 下線は変更部分を示す

第三期中期目標	第四期中期目標（案）	変更の視点
<p><b>1 中期目標の基本的な考え方</b></p> <p>県の施策の方針に沿って、これまでの取組の継続に加え、人口減少にともなう労働力の不足、経済のグローバル化、第四次産業革命がもたらす技術の進展、不確実性を増す気候変動等、社会、経済及び自然環境の変化に対応するため、先端技術を活用した農作業等の省力化、高品質で収益性の高い農林水産物の安定的な生産、消費構造やライフスタイルの変化に対応した食産業の振興及び「スマート社会」の実現に関する試験・研究開発に取り組む。</p> <p><b>2 中期目標期間</b> 平成31年4月1日から令和6年3月31日まで</p> <p><b>3 試験・研究開発の推進方向</b></p> <p><b>(1) 戦略推進事項</b> 研究部門等の枠を越えて連携・協力して取り組む事項</p> <p>① ICT等の活用による労働力不足などに対応した農林水産物の生産技術に関する試験・研究開発 例：衛星を活用した水稻の生育把握による、追肥や水管理など各種作業適期の情報提供システムの開発（農林部門と工業部門が連携）</p> <p>② 県産素材の活用で健康的な生活に寄与する高付加価値製品に関する試験・研究開発 例：りんごやカタクリ等の機能性成分を活用した美容・健康性に優れた青森ブランド製品の開発（工業部門と農林部門、食品加工部門が連携）</p> <p>③ 温暖化など気候変動に対応した農林水産物生産技術に関する試験・研究開発 例：開発期間を短縮できるDNAマーカーを活用した高温条件でも着色の良好なりんご品種の開発（農林部門と工業部門が連携）</p>	<p><b>1 中期目標の基本的な考え方</b></p> <p>これまで積み重ねてきた基礎的な研究に加え、<u>※1 深刻化している労働力不足、生産資材や原材料の高騰、SDGs等社会的課題に的確に対応できるよう、※2 世界トップクラスの試験・研究を目指し、長期的に本県産業が全国をリードできるよう、第四期では、県の施策との整合性を図り、※3 GXにもつながる、産業分野でのDXの推進に資する幅広い視点から、県民所得の向上に寄与する試験・研究開発に取り組むとともに、※4 これらの成果を積極的に情報発信していく。</u></p> <p><b>2 中期目標期間</b> <u>令和6年4月1日から令和11年3月31日まで</u></p> <p><b>3 試験・研究開発の推進方向</b> <u>試験・研究開発に当たっては、現場課題の解決への対話の重視と県民理解の促進を図りながら取り組むとともに、得られた成果はもとより、センターのあらゆる施設、あらゆる事業についての発信の強化の視点を重視し、以下の研究を推進すること。</u></p> <p><b>(1) イノベーション創出型研究</b> <u>※5 本県が、今後の日本をリードする産業を育成していくため、研究部門間の連携はもとより、県内外の民間企業や国の研究機関、関係団体等との協力体制を強化しながら取り組む事項</u></p> <p>① <u>※6 産業の高度化や労働力不足等に対応するためのDX推進に関する試験・研究開発</u> 例：新型衛星やAIを利用した水稻の生育把握による、省力効果の高い生育診断技術の開発</p> <p>② <u>※7 国内外の多様化する消費者ニーズに対応した技術及び製品に関する試験・研究</u> 例：日本一のながいもや青森きくらげなどの県産素材の機能性を解明し、健康寿命延伸食品や素材を開発</p> <p>③ <u>※8 グリーン社会実現に向け、環境負荷を軽減するバイオ製剤等を活用した技術に関する試験・研究開発</u> 例：環境負荷低減に配慮した生産技術に関する試験・研究開発</p>	<p>※1 喫緊の課題に加え、長期的な視点での課題も追加</p> <p>※2 りんごやにんにく、ホタテガイなど、国内トップクラスの生産量と世界に誇る品質の産品を有していることから、高いレベルでの試験・研究を期待</p> <p>※3 GXは、まだ発展途上であり、DXに本格的に取り組むことで、長期的にGXにつながる可能性を期待</p> <p>※4 センターが今より認知され、産業界から頼られる機関となるためには、更なる情報発信が必要</p> <p>※5 技術革新を創出し、中長期的に全国をリードしていくため、民間団体、国の研究機関等との協力体制を強化する必要</p> <p>※6 人口減少下において、生産性の向上や、労働力不足への対応を図るため、ICTの活用からステップアップし、DXの推進を明記</p> <p>※7 新たな市場である海外や昨今のニーズの多様化への対応が必要</p> <p>※8 ゼロカーボン立県や国策であるみどり戦略への対応が求められており、環境負荷軽減技術として有望視されているバイオ製剤等の活用を明記</p>

<p>(2) 重点推進事項 各研究部門が重点的に取り組む事項 ＜工業部門＞ ・人口減少社会に対応したものづくり産業や、青森型地域共生社会を支える技術等に関する試験・研究開発 例1：I o Tを活用した工場生産システムの効率化 2：先端医療に対応した訓練用の高機能臓器モデルの開発</p> <p>＜農林部門＞ ・国内外で競争力の高い優良な品種開発や、高品質・高収益な農林畜産物の生産技術等に関する試験・研究開発 例1：輸出や多様なニーズに対応した極良食味や超多収水稻品種の開発 2：転作田におけるにんにく、たまねぎなど高収益野菜の省力安定生産技術の開発</p> <p>＜水産部門＞ ・水産資源の増養殖・持続的利用や、特色ある漁業振興に向けた新しい技術に関する試験・研究開発 例1：ヤマセに伴う潮流等に対応したホタテガイの安定生産技術の開発 2：淡水や海面養殖における大型サーモンの良食味、高品質生産技術の開発</p> <p>＜食品加工部門＞ ・原料環境や社会情勢等の変化に対応した食品加工技術や、食品製造業者の技術的課題の解決等に関する試験・研究開発 例1：イカ等の原料不足に対応した代替魚種の活用等による水産加工技術の開発 2：食の簡便化などライフスタイルの変化に対応した食品加工技術の開発</p> <p>4 業務運営の改善及び効率化に関する目標 (1) 業務の見直し等 PDCAサイクルの手法を用いる等、業務の見直しを適時適切に行うとともに、情報システム等を有効活用し、業務の効率化を図る。</p> <p>(2) 職員の資質向上 課題解決のための研究開発能力の向上及び産業の動向、県の施策等に関する理解の促進を目的とした研修の実施、国の研究機関等への派遣等を通じて職員の資質向上を図る。</p>	<p>(2) 重点課題研究 各研究部門が重点的に取り組む事項 ＜工業部門＞ ・※9 <u>多様なニーズに対応したものづくり産業等の生産性向上や、地域資源を活用した付加価値向上等に関する試験・研究開発</u> 例1：ロボティクスの構築による製造プロセスの省力化 2：県産発酵食品の多様化と付加価値向上</p> <p>＜農林部門＞ ・※10 <u>本県農林水産業の利益の最大化を図るため、ゲノム編集など革新技術を活用し、国内外の需要に対応した競争力の高い品種・種畜開発や、高品質で付加価値の高い農林畜産物の生産技術等に関する試験・研究開発</u> 例1：りんご産業を活性化させる青森オリジナル品種育成に関する試験・研究開発 2：省力的かつ効率的な牛体外受精卵生産技術の開発</p> <p>＜水産部門＞ ・※11 <u>水産資源の効率的・安定的な増養殖・持続的利用や、漁場環境の管理・保全技術等「つくり育てる漁業」に関する試験・研究開発</u> 例1：ホタテガイのへい死軽減技術の開発 2：AI技術を活用した飼育環境モニタリングシステムによる養殖サーモンの生産技術の開発</p> <p>＜食品加工部門＞ ・※12 <u>新たな加工原料や生活様式等の変化に対応した食品加工技術や、食品関連産業の持続的成長のサポート等に関する試験・研究開発</u> 例1：漁獲量が増加している魚種の加工特性等の把握及び新商品開発 2：冷凍原材料を使用した新たな加工品製造技術の開発</p> <p>4 業務運営の改善及び効率化に関する目標 (1) 業務の見直し等 PDCAサイクルの手法を用いる等、業務の見直しを適時適切に行うとともに、※13 <u>生成AI等の技術を有効活用し、業務の効率化を図る。</u></p> <p>(2) 職員の資質向上 課題解決のための研究開発能力の向上及び産業の動向、県の施策等に関する理解の促進を目的とした研修の実施、※14 <u>最先端の技術等の取得等を目的とした研究機関等への派遣等を通じて職員の資質向上を図る。</u></p>	<p>※9 多様化しているニーズに対応するため、より高度化されたロボティクス等の導入が求められる</p> <p>※10 本県農林水産業の利益の最大化に資する競争力の高い品種等の開発を加速するゲノム編集など革新技術の活用を明記</p> <p>※11 公約に対応した「つくり育てる漁業」の推進</p> <p>※12 本県水産加工の主力であるイカ・サバの危機的な不漁を背景に、近年漁獲量が増加している魚種や冷凍原材料の食品加工技術等の試験・研究が必要</p> <p>※13 研究員の業務の効率化を図るため、生成AIをはじめとする最新のデジタル技術の導入を積極的に取り入れることが必要</p> <p>※14 世界トップクラスの試験・研究を行うためには、最先端技術を行う研究機関等の技術の取得等の人材育成が必要</p>
--	--	--